

平成 26 年度第 6 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 26 年 10 月 4 日（土） 9 時 30 分～17 時 00 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 平成 26 年度青森市子ども会議委員 13 名（欠席者 18 名）
平成 26 年度青森市子どもサポーター1 名（欠席者 2 名）
青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員 5 名
事務局 6 名
- 4 活動内容 午前：児童福祉専門分科会で発表する内容の整理
・身の回りで興味のあることについての活動（夏休み開催）について
・子どもの権利の日イベントでの活動内容等について
午後：児童福祉専門分科会との合同会議

5 開催概要

第 6 回の子ども会議は、11 月 1 日（土）に開催を予定している「青森市子どもの権利の日」のイベントにおいて、子ども会議委員たちがやりたいと考えていることなどについて、「青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会」の皆さんからご意見やアドバイスを伺うことを目的に、児童福祉専門分科会との合同会議を開催しました。

そのため、午前中は合同会議に向けた準備を行ないました。内容としては、夏休み中の集中開催時に行なった「身の回りで興味のあることについての活動」の現時点での大まかなまとめと、子どもの権利の日イベントでやりたいと考えていることのまとめを行ないました。

午後、今年度初めての合同会議が始まりました。

まず、初顔合わせということで、皆さんから自己紹介していただきました。

児童福祉専門分科会委員の自己紹介

- ・こんにちは。初めてではない人もいると思います。10 月に入りましたね。大学は 9 月 30 日まで夏休みです。2 学期が始まって 2 ヶ月以上も経ち、忙しい中、ご苦労様です。皆さん来月 1 日に向けて頑張ってください。
- ・普段は保育園で仕事をしています。子どもの権利条約が国連で採択されたのが 25 年前ですが、今でも子どもの権利条約というのがなかなか社会に広まっていない状況です。最初に子どもの権利条約を



知ったときに権利という英語そのものも、右のライトと権利のライトという単語がなかなか繋がりませんでした。ライトを日本語で権利を訳してしまいましたが、ある有名な大学の先生がもともと権利は当たり前と訳せばいいんだよと教えてくれました。子どもにとっての当たり前のことがまだまだ広まっていないと感じています。ぜひ皆さんと一緒に「子どもの権利の日」イベントを成功させ、青森の子どもたちがもっと豊かに、健やかに過ごせるようにと願っています。

- ・ねぶたのパレードのときも御一緒しました。11月の「子どもの権利の日」イベントですが、皆さんが様々な知恵を出し合っておられるところが凄いな、たくましいと感じました。また、皆さんの未来に役立つ活動だと思います。私も国連の子どものことについて関わってきましたが、日本の子どもたちは幸せなのかもしれませんが、まだまだ子どもたちの権利が疎外されている、あるいは尊重されていない部分というのが新聞を見ていると多々あります。子どもの権利についてもっとたくさんの人に知ってもらうために、子どもの権利について私なりに啓蒙活動をこれから頑張っていきたいと思っています。
- ・昨年度は「子どもの権利の日」のイベントに参加できませんでしたが、今年はぜひ参加したいと思っています。皆さん頑張ってください。
- ・青森市で弁護士をしております。普段家庭の問題に巻き込まれる子どもたちや、非行を犯してしまった少年の付き添い弁護などをしています。こういった業務に携わりながら子どもの福祉、子どもの最善の利益を考える機会にと思っております。今日は皆さんがどんなことを考え、どんなことを発信していきたいのかを知ることが出来るのをとても楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

子ども会議委員・子どもサポーターの自己紹介

- ・今日はよろしくお願いします。
- ・今年で3年目になりましたが、まだまだ楽しくてずっと続けています。これからも変わらずよろしくお願いします。
- ・昨年度から引き続きやらせていただいています。今年度はイベントが一ヶ月早いですが、準備の方頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- ・昼食の後でちょっと眠いですが頑張りたいと思います。



- ・今日来てからあんま真面目にやっていないので、これから真面目に話し合いをしたいと思っています。
- ・子ども会議は5年目になります。高校3年生なので最後の年になります。たぶん落ちなければ、頑張ります。よろしくお願いします。
- ・高校3年生なので、あと数ヶ月で子どもじゃなくなるんですけど、この活動を続けて5年になります。今年でたぶん最後の活動の年だと思います。なかなか忙しくて会議に参加できないときも何回かあるのですが、残り何回かを全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



続いて、今年度の子ども会議のこれまでの活動内容を事務局から説明したあと、今回の合同会議案件である「子どもの権利の日」のイベントについての意見交換を行いました。

まずは、夏休み期間中に子どもたちが活動してきた「興味のあるテーマ」について、グループ毎に、

- ①活動テーマとして選んだ理由
- ②これまでの活動内容
- ③イベント時に発表しようと考えている現時点での提案内容

を説明してもらい、それに対し、児童福祉専門分科会の委員の皆さんからご意見・アドバイスをいただきました。

子どもを取り巻く環境グループの説明

①活動テーマとして選んだ理由

いじめや体罰といった子どもの権利を脅かすものが子どもを取り巻く環境にあるのかどうかを調べるとともに、子どもがより楽しく遊べる環境にしたかったのが主な理由である。

②これまでの活動内容

いじめや体罰や遊べる施設に関する街頭アンケート。いじめ防止啓発のティッシュ配りを街頭で行った。



③現時点での提案内容

- ・電話相談のことをもっと広く知ってもらうためにポスターなどによる広報活動をしてほしい。
- ・アウガの中でみんなが集まって座れるようなスペースが欲しい。通路のところどころにベンチが欲しい。
- ・無料で子どもたちが遊べる施設が欲しい。

子どもを取り巻く環境グループに対するご意見・アドバイス

- ・アンケートを取ったときに直接人と会話したと思うのですが、私が20年前にアンケートを取ったときは3分の2くらいがスルーして行った。いじめに本音で応えてくれているかなど、その辺のところを分析して皆さんにお知らせしてくれれば嬉しいなと思う。
- ・教育委員会でもいじめ体罰に対する対話集会というものをやっているのですが、その時に、このアンケートにご協力いただくのもいいかもしれない。もっともっと違う意味で広まっていくのかもしれない。
- ・アンケート調査の結果と提案について、例えば電話相談があったときにどんな風な対応をしてもらったら子どもとしては安心できるとか、もっと素直に話せるとかというところを提案していけたらいいのかなと思った。
- ・アンケートというものは、サンプル数がもっと多くないといけない。なので、街頭インタビューの結果と言った方がいい気がする。アンケートと言うのはサンプル数が必要な性格のものかなという感想を持った。

交流グループの説明

①活動テーマとして選んだ理由

普段接しない他県の文化やイベントを肌で感じて交流をし、それについて新たな考えが生まれればいいなと思ったのが主な理由である。

②これまでの活動内容

現時点では、8月7日のねぶた祭りで函館名物いか踊りを経験し、その翌日に市役所の担当の方に青函交流について詳しく聞いてきた。



③現時点での提案内容

- ・青森市では県内、県外あらゆる人との交流がどのようにされているのかを知りたい。
- ・多くの人と交流していきたいので、交流の機会に参加するためには、どのようなことを行っていきべきなのかを教えてほしい。

交流グループに対するご意見・アドバイス

- ・交流をするときは、やはりこちらもある程度目的を持って関わるといことで、今回はいろんなことを知りたいということが目的。交流というのはやはり人と人との繋がりですから、常に「相手のことも考えながら」という姿勢が大切。
- ・大学生は、ちょっと前まで高校生であり、秋田とか岩手出身とか県外出身者がたくさんいる。だから青森にいながらしてちょっと話を聞くというのなら、大学生と交流することも一つの方法だと思う。
- ・自分たちが慣れ親しんできた中で、なぜこうなっているのかなというのがあり、違いということに気付くということがある。他県等との違いに気付くという事も含めて、交流していただきたいと思う。

観光グループの説明

①活動テーマとして選んだ理由

青森の良さを知り、広めていきたいと思ったのが主な理由である。

②これまでの活動内容

ワ・ラッセのねぶたの見学や工業高校のねぶた部の見学を行い、骨組みをしたり紙を貼ったりする体験をした。また、商業高校の商業研究部に行って観光プランの見学やオリジナルスイーツの試食をさせてもらった。



③現時点での提案内容

- ・ワ・ラッセなどで子どもも楽しめる施設が欲しい。市産物を使った食品を積極的に売り出して欲しい。
- ・時間に余裕を持ったねぶた祭りの観光ツアーを考えてほしい。
- ・青森市の良さを市民の皆さんにもっと知ってほしい

観光グループに対するご意見・アドバイス

- ・高校のいろんな活動、まさしく子どもの活動と上手く連携しながらいろいろ調べたということはすごく意味のなる活動であると思った。
- ・自分たちの街に誇りを持っているかどうか。来てくれた人に街を評価してもらおうと嬉しいと思う。その辺をリサーチをしながら、たくさんの人たちに発表していくということは、すごく大切なことだと思う。それから、もっと違う視点で自分たちが見逃している青森市の魅力、名産品がないのかという視点も入れてもらえたら嬉しい。

まちづくりグループの説明

①活動テーマとして選んだ理由

昨年度からの継続で、まちおこしや、地域の活性化に興味を持ち、青森市を住みやすい街にしたいと思ったのが主な理由である。

②これまでの活動内容

昨年度は商店街などの関係だったが、今年度は道路や交通にテーマを絞って活動している。道路で危ないところの調査や写真撮影、電車やバスに関するアンケートを小・中・高各2校ずつに配布し、その集計を行なっている。



③現時点での提案内容

- ・電車バスの利用改善点、特に電車やバスの本数を増やしてほしい。
- ・道路整備に関して、道路の穴が結構開いているので、それらをなおしてほしい。

まちづくりグループに対するご意見・アドバイス

- ・道路とかに穴が開いているところをリサーチしたところがおもしろいと思った。その上でそれがもし補修され、もっと便利になったらどんなことが出来るのかなど、もう一步踏み込んだところまで提案してもらえたら嬉しいなと思った。
- ・青森は冬と夏とを分けて考えないといけない。やはり道路や交通のことに冬場の意見の方が非常に大きなウエイトを占めると思う。機会があれば、いろいろな要素があるので、項目を皆さんで考えて調査していただきたい。
- ・今は、少子高齢化であり、子どもの意見もお年寄りに負けないように、子どもの視点からぜひ通学路の危険なところなど提案していただきたい。
- ・つくりたい街のイメージというのがあると思うが、道路に穴が開いているとどうしてダメなのか。あるいは危険だとどうしてダメなのかということを、もう少し子どもの目線で説明してくれるような提案だと良いと思う。

続いて、イベントに向けてのプログラム案やチラシ案、会場レイアウトなどについて、子ども会議委員から説明し、これに対し児童福祉専門分科会の委員の皆さんから、ご意見・アドバイスをいただきました。

子ども会議委員（作品作成班）の説明

現時点で作品作成グループでは、イベントのポスターやプログラムのデザインと学校等に配るチラシが確定している。

配布された資料の中にあるが、これがチラシ等のデザインである。

イベント当日までに作成すべきものは、子どもの権利普及活動を通じての新聞を作成することと、各自、子どもの権利普及に関するポスターとチラシを作成すること。

イベントの当日までに子どもしあわせ課の方々に準備していただきたいものは、ポスターとパネル展示をするパネルを4つと画鋲とテープ。それから当日は矢印などで「会場はこちらです」などと掲示することになると思うので、いくつか紙とペンを用意していただきたいと思う。

作品作成班に対するご意見・アドバイス

- ・私が気付いたのは、ポスターやチラシについて、「日時」とあるが、日には書いてあるが、時間が書いていない。
- ・ダイレクトに「子どもの権利の日イベント」というのが抵抗ある。確かにこの日にふさわしい活動を行ってイベントとして行うが、イベントという言葉がチラシに載せるのが少し違和感がある。「子どもの権利の日の集い」とか「子どもの権利の日フォーラム」など、もう少し工夫して柔らかい感じに。



子ども会議委員（企画運営班）の説明

まず、開会したら市長さんと来賓者に挨拶をしてもらおう。

次に、子どもに優しい街づくりに関して2つのグループが提案したら、休憩を挟んで残りの2つのグループの提案を行い、劇とクイズに入っていく。

劇とクイズの具体内容は、劇中にクイズを入れてその後正解の劇を行なうが、時間は劇1つにつき10分とし、劇とクイズを5分程度で行ない、残りの5分で子どもの権利擁護委員の人の意見交換等を行いたいと思っている。

劇は3つ行なうが、内容については学校中心の内容にしたいと思っている。

その劇とクイズが終わったら、市長からの感想をもらって閉会する。

企画運営班に対するご意見・アドバイス

- ・せっかく皆さんがやるのだから、あまり大人の形を踏襲しなくてもいいのかなと思う。だからプログラムのところでいうと、開会して市長や来賓者の挨拶といった大人の世界のようなものなど入れ込まなくても、もっと自由に楽しくやっていく感じでいいのかなと思う。

- ・今年は、せっかくアウガのAV多機能ホールでイベントを行なうのであれば、このイベントを目的に来た人だけでなく、通りかかった人も気軽に入っていけるようにしてほしい。



・会場のレイアウトは？

子ども会議委員の発言

レイアウトは、まずステージをそのまま使い、椅子と長テーブルを用意したいと思っている。なので、150人くらいしか入らないかもしれない。市長とかメモをとったりと思うので、机は用意したいと思っている。

児童福祉専門分科会委員の皆さんから、さまざま貴重なご意見、アドバイスをいただき、児童福祉専門分科会との合同会議を終了しました。

残りの時間は、合同会議でいただいたご意見・アドバイスを踏まえながら、「作品作成班」はポスター、チラシ案の修正や子どもの権利普及活動を通じての新聞作成等の作業を進め、「企画運営班」は、進行シナリオの作成、劇のシナリオの作成などを行ないました。

以上で、第6回の活動を終了しました。次回も引き続き、引き続きイベント開催に向けた準備を進めることとしています。

★イベントで使用する「横断幕」の確定版



★イベント開催における「ポスター・チラシ」の確定版



※「横断幕」や「ポスター・チラシ」は、合同会議でのご意見・アドバイス等を踏まえ、「作品作成班」が修正等を加えた上で確定版としました。